



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本管財株式会社

コード番号 9728 URL <http://www.nkanzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 原田 康弘

TEL 03-5290-5812

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,869	5.5	1,125	43.2	1,218	46.2	655	36.8
25年3月期第1四半期	17,889	△0.7	785	△12.7	833	△15.1	479	△5.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 887百万円 (164.7%) 25年3月期第1四半期 335百万円 (△40.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	38.98	—
25年3月期第1四半期	28.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	49,704	28,844	54.7
25年3月期	45,330	28,313	58.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 27,197百万円 25年3月期 26,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	8.7	1,900	13.5	2,000	13.0	1,100	8.1	65.26
通期	84,300	12.3	4,600	14.6	5,000	14.2	2,700	12.8	160.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	20,590,153 株	25年3月期	20,590,153 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,761,635 株	25年3月期	3,780,794 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	16,816,347 株	25年3月期1Q	17,013,507 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想に関しましては、本資料並びに本日公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の金融・財政政策に対する期待感から円安や株価の上昇など回復の兆しがみられるものの、新興国をはじめとする海外景気の下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

不動産関連サービス業界におきましては、契約先のコスト削減意識の高まりや業務対象物件の閉鎖・縮小、オフィスや商業ビルの空室率の改善も進まず、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続きビルメンテナンスの周辺業務の拡大を図るとともに、プロパティマネジメント事業、PFI事業、省エネルギー事業等への取り組みやグループ企業の強化など積極的な事業展開を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、新規案件や工事関連業務の受注も堅調に推移し、188億69百万円(前年同四半期比5.5%増)となりました。

収益面におきましては、受託単価の伸び悩みによる収益性の圧迫はありましたが、仕入単価の見直しや時間管理の徹底を図り、管理コストの削減・抑制に努めたことにより、営業利益11億25百万円(前年同四半期比43.2%増)、経常利益12億18百万円(前年同四半期比46.2%増)、四半期純利益6億55百万円(前年同四半期比36.8%増)と前年同四半期を上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、不動産関連サービスの受託が堅調であったことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は159億40百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

収益面におきましても、受託単価の伸び悩み等の影響もありましたが、管理コストの削減を図れたことによりセグメント利益は16億94百万円(前年同四半期比19.1%増)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、ゴミ焼却施設やリサイクル施設管理を中心に既存物件の契約更改が概ね順調であったことに加え、一部の契約において、従来の運転管理業務の請負契約から施設全体の運営管理を行う包括契約に変更され、契約金額が増加したこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億2百万円(前年同四半期比8.1%増)となりました。

収益面におきましても、主要取引先である地方自治体の財政は依然として緊縮傾向にあるものの、新規立ち上げ費用の抑制や仕入価格の見直し、適正な人員配置を中心にコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は2億6百万円(前年同四半期比12.2%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、資産運用のアセットマネジメント収入の安定した計上と資産売却に伴う収益が発生したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は4億31百万円(前年同四半期比305.1%増)となりました。

収益面におきましては、資産売却に伴う費用は増加したものの、経費の節減や業務の効率化に努めました結果、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比275.2%増)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、各種イベントの規模縮小や取引先のコスト抑制の影響により臨時のイベント業務の受注が減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億95百万円(前年同四半期比24.0%減)、セグメント損失は前年同四半期と同水準の13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、子会社株式取得に伴うのれんの増加等により、前連結会計年度末に比べ43億73百万円(9.6%増)増加して497億4百万円となりました。

負債は、新規連結子会社の長期借入金の影響等により、前連結会計年度末に比べ38億42百万円(22.6%増)増加して208億60百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いによる減少に対し、四半期純利益の計上等により5億30百万円(1.9%増)増加して288億44百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.1ポイント減少し54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況で推移することが予想されますが、当社グループといたしましては、さらなる業容拡大を目指すために平成25年6月4日に株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの株式を取得し、連結子会社化いたしました。

これに伴い、連結業績予想に関しましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディング及び同社の子会社の業績が第2四半期以降寄与し、当初の計画を上回る見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当いたしません。上記のとおり、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの株式を取得したため、同社及び同社の子会社である日本住宅管理株式会社、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・スタッフサービス及び株式会社日本住宅管理札幌を連結の範囲に含めております。

なお、同社の株式取得については、平成25年4月2日に議決権の50%を取得し、平成25年6月4日に残り50%の議決権を取得しているため、支配獲得日にかかるみなし取得日である平成25年6月30日までの期間については、持分法適用関連会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,787,733	14,263,745
受取手形及び売掛金	8,864,470	8,801,506
事業目的匿名組合出資金	301,440	307,557
貯蔵品	79,076	104,395
販売用不動産	1,582,211	1,486,178
未収還付法人税等	1,719	2,655
繰延税金資産	362,963	416,774
その他	856,627	1,513,615
貸倒引当金	△12,783	△12,694
流動資産合計	26,823,456	26,883,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,843,232	2,360,662
機械装置及び運搬具(純額)	45,735	59,423
工具、器具及び備品(純額)	254,225	292,079
土地	1,086,763	1,823,031
リース資産(純額)	553,529	594,473
建設仮勘定	267,266	266,742
有形固定資産合計	4,050,750	5,396,410
無形固定資産		
電話加入権	34,790	45,425
ソフトウェア	310,202	267,824
のれん	16,490	2,397,000
リース資産	28,753	29,899
その他	—	18,095
無形固定資産合計	390,235	2,758,243
投資その他の資産		
投資有価証券	10,714,843	11,194,246
長期貸付金	530,108	556,226
長期前払費用	10,052	7,601
敷金及び保証金	1,462,445	1,486,254
会員権	410,108	412,849
繰延税金資産	183,193	183,721
その他	886,967	1,017,096
貸倒引当金	△131,237	△191,777
投資その他の資産合計	14,066,479	14,666,216
固定資産合計	18,507,464	22,820,869
資産合計	45,330,920	49,704,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,630,458	4,171,821
短期借入金	—	580,000
1年内返済予定の長期借入金	167,904	206,154
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	855,600	538,900
リース債務	199,519	213,509
未払費用	2,054,411	3,530,399
未払法人税等	665,746	421,614
未払消費税等	326,478	482,001
預り金	468,042	797,420
前受金	48,440	191,287
賞与引当金	595,336	126,424
役員賞与引当金	75,795	21,561
その他	81,828	281,173
流動負債合計	10,169,557	11,562,263
固定負債		
長期借入金	4,946,500	6,816,618
リース債務	392,973	415,812
繰延税金負債	50,850	169,536
退職給付引当金	324,346	432,376
役員退職慰労引当金	481,849	557,865
長期預り保証金	372,162	397,085
資産除去債務	225,570	230,452
持分法適用に伴う負債	30,992	36,655
その他	22,336	241,422
固定負債合計	6,847,578	9,297,821
負債合計	17,017,135	20,860,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	498,800	498,800
利益剰余金	27,960,384	28,280,826
自己株式	△5,515,802	△5,487,875
株主資本合計	25,943,382	26,291,751
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	728,296	905,826
その他の包括利益累計額合計	728,296	905,826
少数株主持分	1,642,107	1,646,939
純資産合計	28,313,785	28,844,516
負債純資産合計	45,330,920	49,704,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,889,234	18,869,709
売上原価	14,508,655	15,310,446
売上総利益	3,380,579	3,559,263
販売費及び一般管理費		
販売費	37,157	35,112
人件費	1,483,414	1,373,685
賞与引当金繰入額	22,108	21,546
役員賞与引当金繰入額	18,110	20,281
役員退職慰労引当金繰入額	8,547	30,286
退職給付費用	63,777	40,130
旅費交通費及び通信費	222,950	198,101
消耗品費	88,252	88,202
賃借料	184,084	179,995
保険料	44,096	54,529
減価償却費	105,306	100,431
租税公課	58,482	46,379
事業税	20,529	21,837
貸倒引当金繰入額	△2,774	△1,898
のれん償却額	5,563	5,563
その他	235,509	220,021
販売費及び一般管理費合計	2,595,110	2,434,200
営業利益	785,469	1,125,063
営業外収益		
受取利息及び配当金	47,966	54,015
受取賃貸料	10,087	9,651
為替差益	—	74,250
その他	30,253	30,428
営業外収益合計	88,306	168,344
営業外費用		
支払利息	8,947	33,172
賃貸費用	15,357	15,264
持分法による投資損失	6,223	12,567
固定資産除売却損	1,859	9,133
その他	7,780	4,751
営業外費用合計	40,166	74,887
経常利益	833,609	1,218,520
税金等調整前四半期純利益	833,609	1,218,520
法人税、住民税及び事業税	325,025	538,276
法人税等調整額	6,030	△30,374
法人税等合計	331,055	507,902
少数株主損益調整前四半期純利益	502,554	710,618
少数株主利益	23,353	55,167
四半期純利益	479,201	655,451

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	502,554	710,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167,126	177,195
その他の包括利益合計	△167,126	177,195
四半期包括利益	335,428	887,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,249	832,981
少数株主に係る四半期包括利益	23,179	54,832

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,317,101	1,945,564	106,441	520,128	17,889,234	—	17,889,234
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,317,101	1,945,564	106,441	520,128	17,889,234	—	17,889,234
セグメント利益 又は損失(△)	1,422,931	183,695	17,281	△12,426	1,611,481	△826,012	785,469

(注) 1 セグメント利益の調整額△826,012千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,940,850	2,102,568	431,206	395,085	18,869,709	—	18,869,709
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,940,850	2,102,568	431,206	395,085	18,869,709	—	18,869,709
セグメント利益 又は損失(△)	1,694,187	206,131	64,843	△13,333	1,951,828	△826,765	1,125,063

(注) 1 セグメント利益の調整額△826,765千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの株式を取得し、同社及び同社の子会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「建物管理運営事業」のセグメント資産が5,761,115千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建物管理運営事業」セグメントにおいて、株式会社エヌ・ジェイ・ケイ・ホールディングの株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては2,386,073千円であります。